第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.1　炉心の著しい損傷防止のための対応手順 (1)　フロントライン系故障時の対応手順 b．代替格納容器スプレイ																
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域ー低温側）により1次冷却材温度（広域ー高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域ー高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	①	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により1次冷却材温度（広域ー低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域ー低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	ー	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域ー高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域ー低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域）及び１次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，１次冷却材温度（広域ー高温側）及び１次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										１次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B，C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響				計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量により，水源の有無や使用量を推定可能。	
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により補助給水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水ピットを水源とするポンプの注水量により，水源の有無や使用量を推定可能。	
		電源	代替非常用発電機電圧，電力，周波数	6	6	0	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ母線電圧	4 （2）	4	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	水源の確保状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
										ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	ろ過水タンク水位の傾向監視により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										AM用消火水積算流量	1	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
										ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	ろ過水タンク水位の傾向監視により格納容器水位の代替監視可能。	
										AM用消火水積算流量	1	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により格納容器水位の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	AM用消火水積算流量	1	1	0	0	—	—	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	水源であるろ過水タンク水位の傾向監視によりAM用消火水積算流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（狭域）の傾向監視によりAM用消火水積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	水源の確保状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	－	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	－	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	－	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	－	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	－	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	－	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	２次系純水タンク水位	2	１，２号中央制御室に確認			—	水源の確保状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	２ ＊1	０ ＊1	０ ＊1	—	水源の確保状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：４個のうち２個は，１，２号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.1　炉心の著しい損傷防止のための対応手順 (2)　サポート系故障時の対応手順 a．代替格納容器スプレイ																
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	①	—	1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により1次冷却材温度（広域ー高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域ー高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	①	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により1次冷却材温度（広域ー低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域ー低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	ー	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域ー高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域ー低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域）及び１次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，１次冷却材温度（広域ー高温側）及び１次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										１次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.1(1)ｂ．(a)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域）及び１次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										１次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，１次冷却材温度（広域－高温側）及び１次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										１次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										１次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B，C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO	
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器への注水量	B－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。		
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び格納容器スプレイ流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。		
										格納容器スプレイ流量	2	2	0	0			
		補機冷却	B－格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			B－格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.1(1)ｂ．(b)ii．と同様。ただし，電動機駆動消火ポンプは，常用母線に電源がなく起動できないため除く。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	－	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	－	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.1(1)ｂ．(c)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域）及び１次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，１次冷却材温度（広域ー高温側）及び１次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										１次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器への注水量	B－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.1(1)ｂ．(d)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
			炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域）及び１次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，１次冷却材温度（広域ー高温側）及び１次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										１次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.1(1)ｂ．(e)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.1　炉心の著しい損傷防止のための対応手順 (2)　サポート系故障時の対応手順 b．格納容器内自然対流冷却																
(a)　可搬型大型送水ポンプ車を用いたC，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち，1.7.2.2(1)ａ．「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.2　原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (1)　フロントライン系故障時の対応手順 a．格納容器内自然対流冷却																
(a)　C，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち，1.7.2.1(2)ａ．「C，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.2　原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (1)　フロントライン系故障時の対応手順 b．代替格納容器スプレイ																
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B，C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量により，水源の有無や使用量を推定可能。	
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により補助給水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水ピットを水源とするポンプの注水量により，水源の有無や使用量を推定可能。	
		電源	代替非常用発電機電圧，電力，周波数	6	6	0	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			6－A，B母線電圧	4 （2）	4	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊2	0 ＊2	0 ＊2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
＊2：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
										ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	ろ過水タンク水位の傾向監視により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										AM用消火水積算流量	1	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器水位	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
										ろ過水タンク水位	4	２ ＊1	０ ＊1	０ ＊1	ろ過水タンク水位の傾向監視により格納容器水位の代替監視可能。	
										AM用消火水積算流量	1	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により格納容器水位の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	AM用消火水積算流量	1	1	0	0	—	—	ろ過水タンク水位	4	２ ＊1	０ ＊1	０ ＊1	水源であるろ過水タンク水位の傾向監視によりAM用消火水積算流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（狭域）の傾向監視によりAM用消火水積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	２ ＊1	０ ＊1	０ ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内湿度	2 （2）	2	1	1	飽和湿度／圧力の関係を利用して格納容器内湿度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内湿度	2 （2）	2	1	1	飽和湿度／圧力の関係を利用して格納容器内湿度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO	
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
(c)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0			
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0			
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	２次系純水タンク水位	2	１，２号中央制御室に確認			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊１：４個のうち２個は，１，２号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.2　原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (2)　サポート系故障時の対応手順 a．代替格納容器スプレイ																
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	―	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	―	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.2(1)ｂ．(a)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B，C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器への注水量	B－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び格納容器スプレイ流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
										格納容器スプレイ流量	2	2	0	0		
		補機冷却	B－格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			B－格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Bー格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊2	0＊2	0＊2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

＊2：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.2(1)ｂ．(b)ii．と同様。ただし，電動機駆動消火ポンプは，常用母線に電源がなく起動できないため除く。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Ｂー格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.2(1)ｂ．(c)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Bー格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.2(1)ｂ．(d)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(ｶ)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Bー格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.6.2.2(1)ｂ．(a)ii．と同様。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.2　原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (2)　サポート系故障時の対応手順 b．格納容器内自然対流冷却																
(a)　可搬型大型送水ポンプ車を用いたC，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち，1.7.2.2(1)ａ．「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.6.2.3　重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順																
(1)　格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内湿度	2 （2）	2	1	1	飽和湿度／圧力の関係を利用して格納容器内湿度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内湿度	2 （2）	2	1	1	飽和湿度／圧力の関係を利用して格納容器内湿度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(1)　格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B，C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.6　原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(1)　格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び格納容器スプレイ流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
										格納容器スプレイ流量	2	2	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.7.2.1　原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時） (1)　格納容器スプレイ																
a．格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器水位	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B，C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び格納容器スプレイ流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
										格納容器スプレイ流量	2	2	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.7.2.1　原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時） (2)　格納容器内自然対流冷却																	
a．C，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．C，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用）	1	1	1	1	②	－	原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）	1	1	1	1	原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）により，原子炉格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			原子炉補機冷却水サージタンク水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度	2	0	２＊１	２＊１	格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度の傾向監視により，格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			C，D－格納容器再循環ユニット補機冷却水流量	2	2	2	2	②	—	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1		
			C，D－原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度	2	2	0	0	②	－	格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度	2	0	２＊１	２＊１	格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度により最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			B－原子炉補機冷却水戻り母管温度	1	1	0	0	②	－	格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度	2	0	２＊１	２＊１	格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度により最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度	2	0	２＊１	２＊１	①	—	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1		

全：すべてのループの計器の合計数　　＊１：計器取付け後監視可能

A(B，C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．C，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	操作	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1＊1	0	①	－	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度において原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器水素イグナイタ温度	13	13	13	0		
										ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	監視可能であればガス分析計により水素濃度を確認し，ガス分析計の結果に基づき格納容器内水素濃度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.7.2.1　原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時） (3)　代替格納容器スプレイ																
a．代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(1)ｂ．(a)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊2	0 ＊2	0 ＊2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(1)ｂ．(b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
＊2：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(1)ｂ．(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(1)ｂ．(d)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
e．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(1)ｂ．(e)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.7.2.2　原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時） (1)　格納容器内自然対流冷却																
a．可搬型大型送水ポンプ車を用いたC，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	―	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	―	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	―	―	―	―	―	―	―

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．可搬型大型送水ポンプ車を用いたC，D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	C，D－格納容器再循環ユニット補機冷却水流量	2	2	2	2	②	－	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1		
			格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度	2	0	2＊2	2＊2	①	－	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1		
		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1＊1	0	①	－	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度において原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器水素イグナイタ温度	１３	１３	１３	0		
										ガス分析計による水素濃度	－	－	－	－	監視可能であればガス分析計により水素濃度を確認し，ガス分析計の結果に基づき格納容器内水素濃度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能
＊2：計器取付け後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.7.2.2　原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時） (2)　代替格納容器スプレイ																
a．代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(2) a．(a)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内湿度	2 （2）	2	1	1	飽和湿度／圧力の関係を利用して格納容器内湿度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内湿度	2 （2）	2	1	1	飽和湿度／圧力の関係を利用して格納容器内湿度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．B一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(2)ａ．(b)「Ｂ一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	ー	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Bー格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊2	0 ＊2	0 ＊2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

＊2：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(2) a．(c)「ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Bー格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(2)ａ．(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
e．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	B－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(2) a．(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.7　原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
f．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	Bー格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	ー	ー	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりBー格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち，1.6.2.2(2) a．(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.8.2.1　原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却のための対応手順 (1)　交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順 a．原子炉格納容器下部への注水																
(a)　格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び格納容器スプレイ流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
										格納容器スプレイ流量	2	2	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	－	－	－	－	－	－	－
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（狭域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		電源	代替非常用発電機電圧，電力，周波数	6	6	0	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	－	－	－	－	－	－	－
			6－A，B母線電圧	4 （2）	4	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	－	－	－	－	－	－	－
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量により，水源の有無や使用量を推定可能。	
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により補助給水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水ピットを水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
		補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2　＊1	0　＊1	0　＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
										ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	ろ過水タンク水位の傾向監視により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										AM用消火水積算流量	1	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
										ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	ろ過水タンク水位の傾向監視により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										AM用消火水積算流量	1	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	AM用消火水積算流量	1	1	0	0	—	—	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	水源であるろ過水タンク水位の傾向監視によりAM用消火水積算流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（狭域）の傾向監視によりAM用消火水積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	－	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(ｴ)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	－	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	２次系純水タンク水位	2	１，２号中央制御室に確認			－	－	－	－	－	－	－	－	－
			ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
＊1：４個のうち２個は，１，２号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.8.2.1　原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却のための対応手順 (2)　全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順 a．原子炉格納容器下部への注水																
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）との相関関係により格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	①	—	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側），1次冷却材温度（広域ー高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	①	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側），1次冷却材温度（広域ー高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	①	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	①	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量により，水源の有無や使用量を推定可能。	
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により補助給水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水ピットを水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
		補機監視機能	代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	－	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により原子炉下部キャビティ水位の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
		原子炉格納容器への注水量	B－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		補機冷却	B－格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			B－格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び格納容器スプレイ流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
										格納容器スプレイ流量	2	2	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.8.2.1(1)ａ．(c)ⅱ．と同様。ただし，電動機駆動消火ポンプは，常用母線に電源がなく起動できないため除く。														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	－	－	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	－	－	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	B－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	1.8.2.1(1) a．(d) ⅱ．と同様。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO	
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
(e)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。		
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。		
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1			
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	操作	1.8.2.1(1)ａ．(ｎ)ⅱ．と同様。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	－	－	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										格納容器水位	1	1	1	0		
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO	
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
(f)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。		
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。		
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1			
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	操作	1.8.2.1(1)ａ．(f)ⅱ．と同様。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.8.2.2　溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延・防止のための対応手順 (1)　交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順 a．原子炉容器への注水																	
(a)　高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器への注水量	高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
			低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	操作	補機監視機能	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位（広域）により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），格納容器スプレイ流量，高圧注入流量，低圧注入流量，充てん流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の燃料取替用水ピット水位を水源とするポンプの注水量の合計により，水源の有無や使用量を推定可能。	
										格納容器スプレイ流量	2	2	0	0		
										高圧注入流量	2 （2）	2	1	1		
										低圧注入流量	2 （2）	2	1	1		
										充てん流量	1	1	0	0		
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		
(b)　充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域）及び１次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，１次冷却材温度（広域ー高温側）及び１次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										１次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										１次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響				計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
(b)　充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0		原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1		格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
			低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0		原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1		格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
		補機監視機能	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
			余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
			余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	通常の運転操作により対応する手順については，監視計器を記載しない。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　B－格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器への注水量	充てん流量	1	1	0	0	②	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　B－格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	充てんライン圧力	1	1	0	0	③	B－充てんポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)b．(a)「B－格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	B－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	②	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりB－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	－	－	－	－	－	－	－
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	－	－	－	－	－	－	－
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO	
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
(e)　電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1			
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2　＊1	0　＊1	0　＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。															

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(g)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(g)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて徴候。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(h)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(h)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて徴候。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.8.2.2　溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延・防止のための対応手順 (2)　全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順 a．原子炉容器への注水																
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(a)　代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	①	－	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　B－充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(2)ａ．(b)「Ｂ－充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
		分類	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS－CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3（3）	3（全）	3（全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3（3）	3（全）	0	3（全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2（2）	2	1	1	－	－	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2（2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4（2）	4	1	1	－	－	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2（2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3（3）	3（全）	3（全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	－	－	加圧器水位	4（2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域－高温側）及び1次冷却材温度（広域－低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2（2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3（3）	3（全）	3（全）	0		
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3（3）	3（全）	0	3（全）		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2（2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		原子炉格納容器への注水量	充てん流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2（2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4（2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2（2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(c)　B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS－CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			充てんライン圧力	1	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(2)ａ．(c)「Ｂ－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS－CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(d)　ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。ただし，電動機駆動消火ポンプは，常用母線に電源がなく起動できないため除く。														

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(e)　海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(f)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(g)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域），炉心出口温度，1次冷却材温度（広域ー高温側）及び1次冷却材温度（広域ー低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(g)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	Ｂ－格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化によりＢ－格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.8　原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(g)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち，1.4.2.1(1)ｂ．(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.9.2.1　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (1)　炉心の著しい損傷が発生した場合の原子炉格納容器水素爆発防止																
a．原子炉格納容器内水素処理装置による原子炉格納容器内の水素濃度低減	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	ー	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
	操作	電源	A，B一直流コントロールセンタ母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	5	0	③	原子炉格納容器内水素処理装置の作動状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．格納容器水素イグナイタによる原子炉格納容器内の水素濃度低減	判断基準	信号	ECCS作動	—	—	—	—	③	ECCS作動信号の作動状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			代替非常用発電機電圧，電力，周波数	6	6	0	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	１次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	１次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										１次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	１次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の圧力	１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により１次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										１次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば１次冷却材温度（広域－高温側）により１次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										１次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば１次冷却材温度（広域－低温側）により１次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，１次冷却材圧力（広域）及び１次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										１次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．格納容器水素イグナイタによる原子炉格納容器内の水素濃度低減	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）との相関関係により格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
	操作	電源	A，B一直流コントロールセンタ母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	格納容器水素イグナイタ温度	13	13	13	0	③	格納容器水素イグナイタの作動状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.9.2.1　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (2)　原子炉格納容器内の水素濃度の監視 ⅰ．交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の操作手順																
a．可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
	操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1＊2	0	①	—	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度において原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器水素イグナイタ温度	13	13	13	0		
										ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	監視可能であればガス分析計により水素濃度を確認し，ガス分析計の結果に基づき格納容器内水素濃度の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
＊2：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1＊2	0	—	—	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度において原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器水素イグナイタ温度	13	13	13	0		
	操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

＊2：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.9.2.1　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (2)　原子炉格納容器内の水素濃度の監視 ⅱ．全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が喪失した場合の操作手順																
ａ．可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	操作	電源	代替非常用発電機電圧，電力，周波数	6	6	0	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			A，B一直流コントロールセンタ母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	①	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1＊1	0	①	—	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度において原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器水素イグナイタ温度	13	13	13	0		
										ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	監視可能であればガス分析計により水素濃度を確認し，ガス分析計の結果に基づき格納容器内水素濃度の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６ーA，B，C１，C２，D母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			A，Bー直流コントロールセンタ母線電圧	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.9　水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視	判断基準	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1＊1	0	—	—	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度において原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器水素イグナイタ温度	13	13	13	0		
	操作	電源	代替非常用発電機電圧，電力，周波数	6	6	0	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水素濃度	ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.10　水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.10.2.1　水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順 (1)　水素排出による原子炉建屋等の損傷防止 a．アニュラス空気浄化設備による水素排出																
(a)　交流動力電源及び常設直流電源が健全である場合の操作手順	判断基準	信号	ECCS作動	—	—	—	—	③	ECCS作動信号の作動状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		アニュラス部の圧力	アニュラス内圧力	2	2	0	0	③	アニュラス空気浄化ファンの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.10　水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
(b)　全交流動力電源又は常設直流電源が喪失した場合の操作手順	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	泊幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	③	後志幹線１Ｌ，２Ｌの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲，乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			Ａ，Ｂ－直流コントロールセンタ母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	１次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	１次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										１次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	１次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		アニュラス部の圧力	アニュラス内圧力	2	2	0	0	③	アニュラス空気浄化ファンの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		電源	代替非常用発電機電圧，電力，周波数	6	6	0	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.10　水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.10.2.1　水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順 (1)　水素排出による原子炉建屋等の損傷防止 b．アニュラス部の水素濃度監視																
(a)　可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットによる水素濃度測定	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
	操作	アニュラス部の水素濃度	アニュラス水素濃度（可搬型）	1	0	1＊2	0	①	—	アニュラス水素濃度	1	1	1	0	監視可能であれば，アニュラス水素濃度によりアニュラス水素濃度（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
(b)　アニュラス水素濃度検出器による水素濃度測定	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
	操作	アニュラス部の水素濃度	アニュラス水素濃度	1	1	1	0	—	—	アニュラス水素濃度（可搬型）	1	0	1＊2	0	アニュラス水素濃度（可搬型）によりアニュラス水素濃度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

＊2：可搬型アニュラス水素濃度計測装置の取付け及び運転開始後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.11.2.1　使用済燃料ピットの冷却機能又は注水機能の喪失時，又は使用済燃料ピット水の小規模な漏えい発生時の対応手順 (1)　使用済燃料ピットへの注水																
a．燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による傾向監視により水源の有無や使用量を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能

＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
		水源の確保	2次系純水タンク水位	2	「1，2号中央制御室に確認」			—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
		水源の確保	2次系純水タンク水位	2	「1，2号中央制御室に確認」			—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
		水源の確保	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊1	1	0	1	0		
			携帯型水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			携帯型水位計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			携帯型水位・水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．１次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	水源の確保	１次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）により１次系純水タンク水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可
＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
		水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊3	0 ＊3	0 ＊3	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

＊3：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊1	1	0	1	0		
			携帯型水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			携帯型水位計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			携帯型水位・水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊4	0 ＊4	0 ＊4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
＊4：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
e．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
e．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊1	1	0	1	0		
			携帯型水温計	1	1	1	1	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
e．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			携帯型水位計	1	1	1	1	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			携帯型水位・水温計	1	1	1	1	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
e．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	①	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ｆ．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
f．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊1	1	0	1	0		
			携帯型水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
f．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			携帯型水位計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			携帯型水位・水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
f．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
g．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
g．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊1	1	0	1	0		
			携帯型水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
g．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			携帯型水位計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			携帯型水位・水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
g．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		
		水源の確保	2次系純水タンク水位	2	「1，2号中央制御室に確認」			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 ＊4	0 ＊4	0 ＊4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
＊4：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.11.2.2　使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の対応手順 (1)　使用済燃料ピットへのスプレイ																
a．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	①	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可
＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		
		水源の確保	2次系純水タンク水位	2	「1，2号中央制御室に確認」			—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 ＊4	0 ＊4	0 ＊4	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
＊4：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による燃料取扱棟（使用済燃料ピット内の燃料体等）への放水	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による燃料取扱棟（使用済燃料ピット内の燃料体等）への放水	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	①	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		
		周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	7	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち1.12.2.2(1)ｄ．「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.11.2.2　使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の対応手順 (2)　漏えい緩和																
a．使用済燃料ピット漏えい緩和	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．使用済燃料ピット漏えい緩和	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．使用済燃料ピット漏えい緩和	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数
＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.11.2.3　重大事故等時における使用済燃料ピットの監視のための対応手順 (1)　使用済燃料ピットの状態監視																
a．常設設備による使用済燃料ピットの状態監視	－	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	－	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	－	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	－	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	－	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．常設設備による使用済燃料ピットの状態監視	－	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	②	－	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0 ＊2	0	0	②	－	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ＊3	1	0	1	0	①	－	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	判断基準	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	2	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊1	1	0	1	0		
			携帯型水温計	1	1	1	1	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			携帯型水位計	1	1	1	1	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
			携帯型水位・水温計	1	1	1	1	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.11　使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	①	－	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ＊2	1	0	1	0	①	－	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2 ＊1	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A（B，C）：当該ループの計器数

＊1：計器取り付け後監視可能
＊2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.1　炉心の著しい損傷，原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順 (1)　大気への放射性物質の拡散抑制																
a．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	②	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	①	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合				直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	① —	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
									格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
									格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	① —	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
									格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
									格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	7	0	0	③ 屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	0	③ 屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．ガンマカメラ又はサーモカメラによる放射性物質漏えい箇所の絞り込み	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Bー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりBー格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
	操作	—														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.1　炉心の著しい損傷，原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順 (2)　海洋への放射性物質の拡散抑制 a．海洋への拡散抑制設備（シルトフェンス）による海洋への放射性物質の拡散抑制																
(a)　集水桝シルトフェンスによる海洋への放射性物質の拡散抑制	判断基準	「1.12.2.1(1)a．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	—														
(b)　荷揚場シルトフェンスによる海洋への放射性物質の拡散抑制	判断基準	「1.12.2.1(1)a．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	—														

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ													
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.1　炉心の著しい損傷，原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順 (2)　海洋への放射性物質の拡散抑制																
b．海洋への拡散抑制設備（放射性物質吸着剤）による海洋への放射性物質の拡散抑制	判断基準	「1.12.2.1(1)a．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	－														

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ													評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.2　使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷時の手順 (1)　大気への放射性物質の拡散抑制																
a．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1＊1	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		

全：すべてのループの合計数　　＊1：計器取付け後監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
a．海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0＊1	0	0	②	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）		
										主蒸気ライン圧力	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）		
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	①	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊2	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		
		周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	7	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち，1.11.2.2(1)ａ．「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可
＊2：計器取付け後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1＊1	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：計器取付け後監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
b．代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0＊1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）		
										主蒸気ライン圧力	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）		
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊2	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		
		周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	7	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち，1.11.2.2(1)ｂ．「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可
＊2：計器取付け後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
c．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1＊1	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：計器取付け後監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響				計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
c．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0＊1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1			
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1			
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）			
										主蒸気ライン圧力	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）			
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0		使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0			
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0		使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊2	0			
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0			
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0			
		周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	7	0	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—
	操作	「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち，1.11.2.2(1)ｃ．「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可
＊2：計器取付け後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	判断基準	1.12.2.2(1)ａ．「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度（AM用）により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位（可搬型）により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0		
			使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1＊1	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（AM用）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	計測範囲内であれば，使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位	2	2	0	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位（可搬型）の代替監視可能。	
										使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0		
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
＊1：計器取付け後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
d．可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0＊1	0	0	②	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）		
										主蒸気ライン圧力	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）		
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	①	—	使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば，使用済燃料ピットエリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用）による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	
										使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0		
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	①	—	使用済燃料ピット水位（AM用）	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用）及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										使用済燃料ピット水位（可搬型）	2	0	2＊2	0		
										使用済燃料ピット温度（AM用）	2	2	2	0		
										使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		
		周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	7	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	0	③	屋外の放射線量を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可
＊2：計器取付け後監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
e．ガンマカメラ又はサーモカメラによる放射性物質漏えい箇所の絞り込み	判断基準	1.12.2.2(1)a．「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	－														

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.2　使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷時の手順 (2)　海洋への放射性物質の拡散抑制 a．海洋への拡散抑制設備（シルトフェンス）による海洋への放射性物質の拡散抑制																
(a)　集水桝シルトフェンスによる海洋への放射性物質の拡散抑制	判断基準	1.12.2.2(1)d．「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	—														
(b)　荷揚場シルトフェンスによる海洋への放射性物質の拡散抑制	判断基準	1.12.2.2(1)d．「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	—														

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.2　使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷時の手順 (2)　海洋への放射性物質の拡散抑制																
b．海洋への拡散抑制設備（放射性物質吸着剤）による海洋への放射性物質の拡散抑制	判断基準	1.12.2.2(1)ｄ．「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様。														
	操作	－														

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.3　原子炉建屋周辺における航空機衝突による航空機燃料火災時の手順 (1)　初期対応における延焼防止処置																
a．化学消防自動車及び水槽付消防ポンプ自動車による泡消火	判断基準	—														
	操作	水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
b．可搬型大型送水ポンプ車及び小型放水砲による泡消火	判断基準	—														
	操作	—														
c．大規模火災用消防自動車による泡消火	判断基準	—														
	操作	—														

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.12　発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.12.2.3　原子炉建屋周辺における航空機衝突による航空機燃料火災時の手順 (2)　航空機燃料火災への泡消火																
a．可搬型大容量海水送水ポンプ車，放水砲及び泡混合設備による航空機燃料火災への泡消火	判断基準	－														
	操作	－														

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (1)　燃料取替用水ピットを水源とした対応手順 b．燃料取替用水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水																
(a)　燃料取替用水ピットを水源とした１次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	①	—	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－高温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	①	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	燃料取替用水ピットを水源とした１次冷却系のフィードアンドブリード手順については，1.2.2.1(1)「１次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (3)　ろ過水タンクを水源とした対応手順 a．ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																	
(a)　ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	
			高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水手順については，「1.4.2.1(1)ｂ．(c) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (3)　ろ過水タンクを水源とした対応手順 b．ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却																
(a)　ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ手順については，1.6.2.1(1)ｂ．(b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)ｂ．(b)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (4)　代替給水ピットを水源とした対応手順 a．代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																
(a)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	－	－	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	－	－	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	－	－	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	操作	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｄ．「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (4)　代替給水ピットを水源とした対応手順 b．代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																	
(a)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	—	—	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	—	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｄ．「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (4)　代替給水ピットを水源とした対応手順 c．代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																	
(a)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
			低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	
			高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	－	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については，1.4.2.1(1)ｂ．(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (4)　代替給水ピットを水源とした対応手順 d．代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																	
(a)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	—	—	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	—	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)d．「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (4)　代替給水ピットを水源とした対応手順 f．代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却																
(a)　代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については，1.6.2.1(1)ｂ．(d)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)ｂ．(d)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (5)　原水槽を水源とした対応手順 a．原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																	
(a)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	—	—	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	—	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｅ．「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (5)　原水槽を水源とした対応手順 b．原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																	
(a)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	－	－	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	－	－	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	－	－	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	－	－	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	－	－	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｅ．「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (5)　原水槽を水源とした対応手順 c．原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																	
(a)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
			低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	
			高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については，1.4.2.1(1)b．(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (5)　原水槽を水源とした対応手順 d．原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																	
(a)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	—	—	1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－高温側）の代替監視可能。	
			1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										炉心出口温度	1	1	1＊1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度（広域－低温側）の代替監視可能。	
		最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	—	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｅ．「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (5)　原水槽を水源とした対応手順 f．原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却																
(a)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については，1.6.2.1(1)ｂ．(a)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)ｂ．(a)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (8)　脱気器タンクを水源とした対応手順 a．脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																	
(a)　脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			脱気器タンク水位	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ａ．「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (8)　脱気器タンクを水源とした対応手順 b．脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																	
(a)　脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			脱気器タンク水位	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)a．「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO	
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合			
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (8)　脱気器タンクを水源とした対応手順 c．脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																	
(a)　脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			脱気器タンク水位	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については，1.4.2.2(1)a．(b)「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (9)　海を水源とした対応手順 a．海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																
(a)　海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｃ．「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (9)　海を水源とした対応手順 b．海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																
(a)　海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｃ．「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (9)　海を水源とした対応手順 c．海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																
(a)　海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	
			高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	①	－	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	－	－	－	－	－	－	－
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	－	－	－	－	－	－	－	－
	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については，1.4.2.1(1)ｂ．(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (9)　海を水源とした対応手順 d．海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																
(a)　海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		水源の確保	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については，1.2.2.1(2)ｃ．「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.1　水源を利用した対応手順 (9)　海を水源とした対応手順 f．海を水源とした原子炉格納容器内の冷却																
(a)　海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については，1.6.2.1(1)ｂ．(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(1)ｂ．(c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		分類	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1.13.2.2　水源へ水を補給するための対応手順 (1)　燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a．可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 (a)　原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																
ⅰ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	信号	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域ー高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域ー低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域ー低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域ー高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域ー高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	
			低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅰ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅰ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位（狭域）により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位，格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。		
										格納容器水位	1	1	1	0			
										燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位，補助給水ピット水位，注水積算量であるＢ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用），代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替監視可能。		
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1			
										Ｂ－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0			
										代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0			
			格納容器再循環サンプ水位（狭域）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）との相関関係により格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）	—	—	補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
										蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視することにより，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
			蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	測定範囲内であれば蒸気発生器水位（狭域）により蒸気発生器水位（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（広域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0			
			蒸気発生器水位（狭域）	12 （6）	12 （全）	3 （全）	3 （全）	—	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	相関関係のある蒸気発生器水位（広域）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側），1次冷却材温度（広域－高温側）の変化を傾向監視することにより，蒸気発生器水位（狭域）を推定し，最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0			
		水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数（）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅰ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	格納容器バイパスの監視	補助建屋サンプタンク水位	2	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2（2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4（2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2（2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		
										主蒸気ライン圧力	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		
			排気筒ガスモニタ	2	0＊1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2（2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4（2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2（2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		
										主蒸気ライン圧力	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		
			排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	1	0＊1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2（2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4（2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2（2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		
										主蒸気ライン圧力	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		
			排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	1	0＊1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2（2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4（2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2（2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		
										主蒸気ライン圧力	12（6）	12（全）	3（全）	3（全）		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
i．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピット～の補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	格納容器バイパスの監視	復水器排気ガスモニタ	1	０＊１	0	0	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										主蒸気ライン圧力	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）		
			蒸気発生器ブローダウン水モニタ	1	０＊２	0	0	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										主蒸気ライン圧力	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）		
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）	蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										主蒸気ライン圧力	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）		
			蒸気発生器水位（狭域）	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）	—	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の上昇により蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										主蒸気ライン圧力	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）	主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	
										補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）		
			主蒸気ライン圧力	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）	—	—	蒸気発生器水位（広域）	3 （3）	3 （全）	2 （A，C）	1 （B）	蒸気発生器水位（広域）の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水流量	3 （3）	3 （全）	1 （B）	2 （A，C）		
			余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	１次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	１次冷却材圧力（広域），加圧器水位，格納容器再循環サンプ水位（広域），蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1		
										蒸気発生器水位（狭域）	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）		
										主蒸気ライン圧力	１２ （６）	１２ （全）	3 （全）	3 （全）		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

＊１：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

＊２：プラントトリップによりサンプルラインが閉止されるため監視不可

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
i．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	格納容器バイパスの監視	余熱除去冷却器入口温度	2	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			余熱除去冷却器出口温度	2	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			加圧器逃がしタンク水位	1	1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										格納容器サンプ水位	2	2	1	0	格納容器サンプ水位の上昇がないことの確認によりインターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			加圧器逃がしタンク圧力	1	1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										格納容器サンプ水位	2	2	1	0	格納容器サンプ水位の上昇がないことの確認によりインターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			加圧器逃がしタンク温度	1	1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により，インターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1		
										格納容器サンプ水位	2	2	1	0	格納容器サンプ水位の上昇がないことの確認によりインターフェイスシステムLOCAの傾向監視が可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅰ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										モニタリングポスト	7	7	0	0		
										モニタリングステーション	1	1	0	0		
			格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 （2）	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	エアロックエリアモニタ及び炉内核計装区域エリアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	
										炉内核計装区域エリアモニタ	1	1	0	0		
			エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）によりエアロックエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			炉内核計装区域エリアモニタ	1	1	0	0	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により炉内核計装区域エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			格納容器じんあいモニタ	1	0＊1	0	0	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により格納容器じんあいモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			格納容器ガスモニタ	1	0＊1	0	0	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 （2）	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により格納容器ガスモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

＊1：試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅰ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	電源	泊幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			後志幹線１Ｌ電圧，２Ｌ電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧，乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			６－Ａ，Ｂ，Ｃ１，Ｃ２，Ｄ母線電圧	7 （2）	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
1．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	操作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2次系純水タンク水位	2	1，2号中央制御室に確認			—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 ＊1	0 ＊1	0 ＊1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：4個のうち2個は，1，2号中央制御室に確認する。

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ														
		抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		分類	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （ ）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅱ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	判断基準	信号	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1＊1	0	—	—	1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	1次冷却材温度（広域－高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	1次冷却材温度（広域－低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 （2）	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										サブクール度	1	1	0	0	サブクール度，1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域－高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで，原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
										1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1		
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0		
		原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力（広域）	2 （2）	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										1次冷却材温度（広域－高温側）	3 （3）	3 （全）	3 （全）	0	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	
										1次冷却材温度（広域－低温側）	3 （3）	3 （全）	0	3 （全）	原子炉圧力容器内が飽和状態であれば1次冷却材温度（広域－低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数　　＊1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ															
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅱ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	2 （2）	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	
			低圧注入流量	2 （2）	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										補助給水ピット水位	2 （2）	2	1	1		
										加圧器水位	4 （2）	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表　重大事故等対処に係る監視事項

1.13　重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ													評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器							抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO
			計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数 （）内はPAM	SBO影響				
					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合					直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合		
ⅱ．原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	判断基準	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器圧力（AM用）により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	—	—	格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	格納容器圧力（AM用）又は格納容器圧力（狭域）により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
			格納容器圧力（AM用）	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 （2）	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器圧力（狭域）	1	1	0	0		
										格納容器内温度	2 （2）	2	1	1	飽和温度／圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力（AM用）の代替監視可能。	
		原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 （2）	2	1	1	水源である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
										格納容器再循環サンプ水位（広域）	2 （2）	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視によりB－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数